

【平成27年度「茨城県内国有林野等所在市町村長有志協議会」を開催】

関東森林管理局茨城森林管理署では、11月17日（火）水戸京成ホテルにおいて、平成27年度「茨城県内国有林野等所在市町村長有志協議会」を開催しました。

会議には、管内関係10市町村長等のほか、茨城県からも次長兼林政課長他2名が出席し、情報や意見の交換を行いました。

冒頭、代表世話人である大久保常陸太田市長から、「森林・林業の活性化について各自自治体が行き詰まっている。その一方でさまざまな苦勞をされているのも現状である。年1回の会議であるので、さまざまな意見を出してほしい」との挨拶がありました。



続いて、関東森林管理局長から、「平成25年4月から一般会計へ移行し、特に民有林との連携を強く意識し業務に当たっている。局管内では16カ所の森林共同施業団地が設定されており、システム販売では民有林と国有林が一体となって木材の販売に取り組んでいる。民有林と国有林が連携して取り組むには市町村の方々のニーズにマッチしたものでなければならない」との挨拶がありました。

議事では、企画調整課長から関東森林管理局の取り組みを紹介し、続いて茨城森林管理署長から茨城森林管理署の取り組んでいる、木材の安定供給、林業の低コスト化、民有林との連携などを説明しました。

また、茨城県の野村次長兼林政課長からは、「緑の循環システムの確立による本県森林・林業の再生を目指した施策の紹介」がありました。

意見交換では、国有林と連携した森林整備の推進や、国有林野の利活用に関する要望、市町の抱える林政上の課題などが話し合われました。

